

## コートキーパーマニュアル

### 1. 心構え

- ・ 審判の指示のみで行動するのではなく、試合展開を注視し自ら行動する。(選手が倒れたら自ら拭きに行く、時計が止まっていなくてもプレイに支障がない場所は拭きに行く、等。)
- ・ 観客・関係者等に常に見られている立場であることを自覚する。(モップは必ず両手で持つ、ダッシュする、初めと終わりに揃って礼をする、等。)

### 2. 役割

- ・ (4名以上で行うが、電光掲示板でない場合は、得点板をめくる係り2名を加え、6名以上が必要。)
- ・ チーム名の掲示(試合前)と返却(試合直後)
- ・ 試合前、Q間、およびチャージドタイムアウト時のモップがけ(3を参照すること)
- ・ 汗拭き(選手が倒れたときなど)

### 3. モップがけについて

#### (1) 開始のタイミング

試合前(1分30秒~)、1Qと2Qの間(1Q終了後すぐ)、3Q開始前(1分30秒~)、3Qと4Qの間(3Q終了後すぐ)の4回(加えてもし延長戦になった場合は各延長開始前)およびチャージドタイムアウトがあったとき。

#### (2) 内容 あわせて(3)の図を参照すること。

各ゴール下中央に2名(両サイド計4名)が整列し、全員で一斉に礼をしたのち走り始める。

試合前やQ間(チャージドタイムアウト以外)はコート全面をモップがけする。

チャージドタイムアウト時は3Pラインの内側のみモップがけをする。

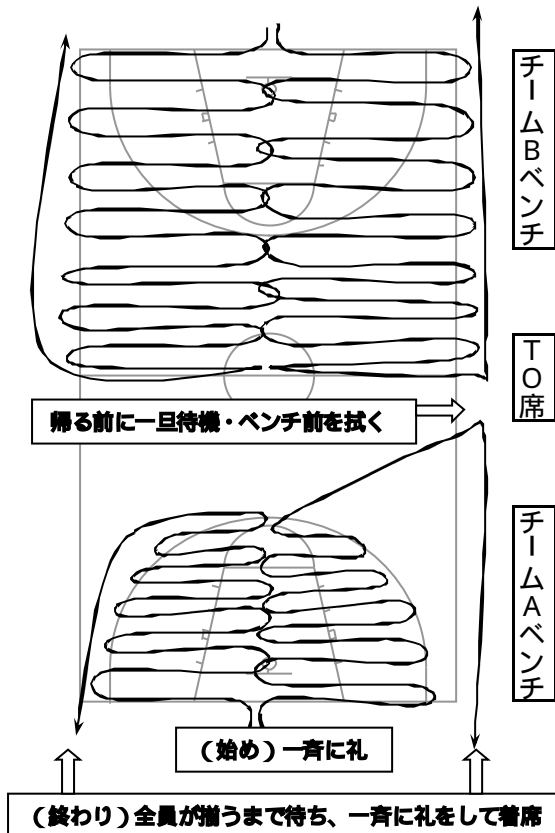
モップを必ず両手で持ち、ダッシュでかける。(あくまでダッシュであり、ランニングやジョギングではない。)

ハーフコート当り2名のうちの1名がオフィシャル席前で一旦待機し、ベンチ前が空いたタイミングを見計らってベンチエリアのモップがけをしながら自分の席まで戻る。その際、もう1名は自分の席の前で立ったまま待機する。

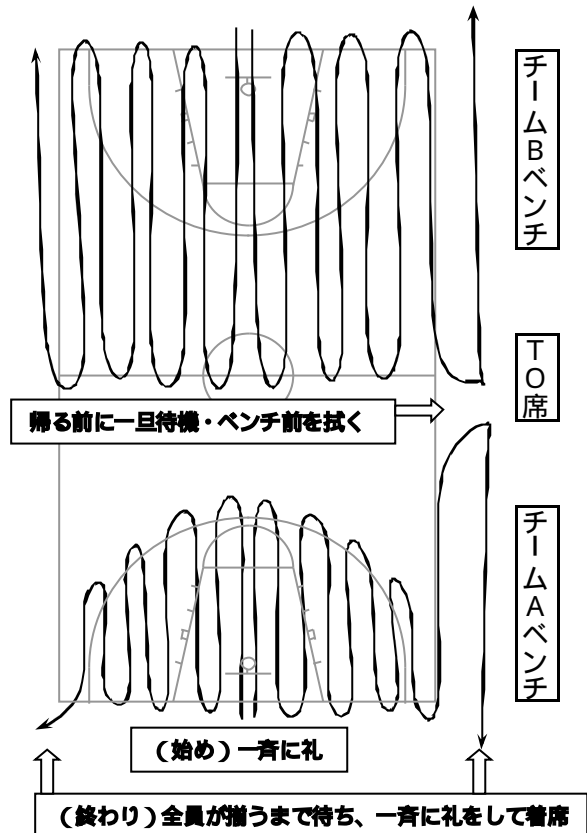
ベンチ前のモップがけが終わり、4名全員が自分の席まで戻ったら、全員一斉に礼をして着席する。

(3) 図解と注意事項

板の目が横の場合



板の目が縦の場合



(終わり)全員が揃うまで待ち、一斉に礼をして着席  
の両図とも、上半分が各Q開始前(全面)、下半分がタイムアウト時(3Pラインの内側のみ)

何往復するかは特に決めていないが、拭き残しが絶対にならないようにすること。また、コート中央(ミドルライン=2名の間部分)の拭き残しがないようにすること。  
最後にベンチ前を拭いて帰ることを忘れないこと。

4. 汗拭きについて

- ・ 心構えに記載したとおり、自ら進んで拭きに行くこと。
- ・ プレイ進行中にコート内に入って拭く場合は、ターンオーバーからの速攻に充分注意すること。その場合担当ハーフコートの全員(3名以上いる場合も全員)で取り組み、うち1名がプレイの流れを観察して退却等を指示し、残りの者が汗拭きの作業をする。
- ・ 雑巾が用意されている場合はモップと雑巾の両方を活用すること。